

	チェック項目	現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた 改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	机上に課題を広げても窮屈に感じないよう配慮し、また指導中のお子様同士の距離を保ったり、お子様の特性に応じて選択できるように個室や半個室ブースを設けています。【児】【放】	障害物もなく、走っても安全なスペースがあると思います。【児】 スッキリとしていて十分です。【放】 はい……21 どちらともいえない……0 いいえ……0 わからない……0	お子様たちが怪我をすることなく安全に、またコロナウイルス等感染症対策を徹底しつつ、窮屈さを感じず快適に活動できるように配慮して参ります。
	2 職員の適切な配置	学習時には基本的に1対1で指導しており、必要に応じて集団で遊ぶ場合にも、お子様の人数と同じ人数の職員配置や、職員複数名でお子様と活動することもございます。【児】【放】	複数の先生方に見ただけで、色々な意見があつていいと思います。【児】 適切です。【放】 はい……20 どちらともいえない……0 いいえ……0 わからない……1	ご意見ありがとうございます。利用時のお子様の様子や、教室内の状況に合わせ臨機応変に対応し、職員全員で、ご利用してくださっているお子様たち一人一人の成長を支援して参ります。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関やトイレなどの段差があります。職員室が指導室の近くにありすぐに対応できること、教室内の移動の導線を簡潔化しております。【放】 加えて、飛び出し等防止にゲートを設置しております。【児】	本人にとっては、分かりやすい環境なので満足していますが、バリアフリーと言われると適切とは言えません。【児】 気が散る物がなく、集中しやすい環境です。【放】 はい……19 どちらともいえない……1 いいえ……0 わからない……1	建物の構造上バリアフリー化が難しくなっております。ただ、ご利用者に合わせた配慮を行いつつ、怪我無く安全にお子様たちが居心地がよく快適に過ごることができる環境を整えて参ります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	お子様に安心して過ごしていただけるよう、職員の検温の徹底を行っております。また毎日の清掃を徹底し、換気や指導毎の消毒、空気清浄機の稼働、快適な空間づくりを行っております。【児】【放】	とても清潔感があると思います。【児】 いつもとても清潔です。【放】 はい……21 どちらともいえない……0 いいえ……0 わからない……0	今後も職員全員で、施設全体の徹底した清掃・指導毎消毒・換気等を行い、お子様たちが安心して心地よく過ごせる空間を提供して参ります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	施設としての、月ごとに目標や前月の振り返りを行い、職員個人の目標を毎月の施設会議で定め、日々全員がその目標を心にとめ、お子様、ご家族様のご支援に動んでおります。【児】【放】		始業・終業時、毎月の行われる会議で、職員同士で目標を視覚化して意識や共有しながら、日々の支援向上や改善に努めています。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在、第三者による外部評価は行われておりません。相談支援員や医療機関、教育関係等の方々とは適宜見学され、その中でのご意見は支援に活かしております。【児】【放】		今後も自己評価に留まらず、第三者視点から当施設の長所・短所を把握に努め、よりよい支援を継続しつつ、放課後等デイサービスとしての質を高められるよう努力を続けて参ります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	会社としての入社時研修の実施、また今年度は講師を招き施設全体でオンラインでの研修会を行っています。外部研修等は各自で参加しています。【児】【放】		職員の質を向上するため、継続して施設全体での研修を行いつつ、積極的に外部研修に参加できるよう、業務分担を促進しております。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ご利用時間中にお子様と積極的にコミュニケーションをとり、ニーズを汲み取っております。また、利用前後の時間で保護者様と面談や電話等でコミュニケーションを取り、連絡ノートなども活用しながら、ご家庭や幼稚園、学校生活での困りごとやニーズの把握に努めています。【児】【放】	親の意見をすぐ聞いてくれたり、無理のない楽しめる支援が行われていたりします。また、最初にお話した支援内容が数か月で出来ているので、先生方の支援には感謝しています。【児】 こちらのニーズをしっかりと取り入れていただいています。また、とても具体的な内容を設定していただいています。【放】	たくさんのご意見ありがとうございます。それぞれのご家庭に寄り添えるよう、多様な連絡体制をとり、困ったことをすぐに相談していただける環境を整え、また信頼関係を築けるよう努めて参ります。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	基本的に個別活動を中心として利用して頂いています。遊びなどは、職員複数名で関わり信頼関係の構築に努めております【児】 集団活動で成長が見込まれるお子様に關しては遊びの時間に状況に応じて、職員も介入し他のお子様たちと関わりを持つ機会を設けています。【放】		個別支援計画書を主軸として、個別活動を行いつつ、ご要望などに応じてお子様の様子や環境を見極め、他のお子様と関わりを持たせ適切な支援を提供できるよう努めて参ります。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	お子様の様子に合わせ、約半年ごとに個別支援計画書を作成、更新しております。毎日の始業時や毎月の施設会議にて、お子様のニーズにも沿ったどんな支援が適切かを話し合い、日々試行錯誤しております。【児】【放】	はい……21 どちらともいえない……0 いいえ……0 わからない……0	保護者様や相談支援員の皆様と、より一層、密に連携していきながら、お子様にとってどんな支援が必要かを日々検討して参ります。また、その日のお子様の状況や直近で困っている事を把握し必要な支援を実施に努めて参ります。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書を作成する際、会議を実施したり、日々職員全員で意見を出し合いまとめていくことで、一人一人の支援方針等を把握し見解を深め、日々の指導で計画に沿った支援を行えるよう努めています。【児】【放】	はい……19 どちらともいえない……1 いいえ……0 わからない……0	職員全員がお子様と一人一人と信頼関係を築いていきながら、利用時の状況把握や些細な変化も見逃さず、当日担当指導者がお子様の情報共有を徹底していくことで、継続的に適切な支援が行えるよう努めて参ります。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	始業・終業時の職員会議以外にも、日々職員同士で気になる部分は、常々意見交換を行うようにしております。基本的には、1対1での指導にはなりますが、職員の固定化せず職員全員で1人1人の成長を見守っています。【児】【放】		貴重なご意見ありがとうございます。職員の数だけ思いやアイデアが出ることを忘れず、日々職員同士で意見共有や、コミュニケーションをとりながら、チームワークを高めてお子様の支援に活かして参ります。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	お子様の様子やその日の宿題の量、また保護者様、お子様の要望などに配慮し、ご利用ごとに課題の量を調整したり、重点的に支援する部分に変化をもたせています。【放】 就学時支援を中心に、お子様の様子や保護者様、お子様の要望などに配慮し、重点的に支援する部分に変化をもたせています。【児】	家で学習のことも取り入れてくれているので、もっと学べる環境です。【児】 遊びの時間も療育、いつもとは違う遊びをする日も出てきました。【放】	ご意見ありがとうございます。お子様の困りごとやご家族の悩み等把握していきながら、できるだけご家庭やお子様の状況に合わせた支援を行い、祝日や長期休暇だからこそ行える支援もできるよう努めて参ります。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	日々のお子様の様子等から、課題内容に変化をもたせつつ、各課題やお子様に合わせて適切な補助教材を活用することで、できるだけ意欲を損なわず楽しく取り組めるよう努力しております。【児】【放】	はい……21 どちらともいえない……0 いいえ……0 わからない……0	主軸として支援している課題に対して、消極的なイメージをお子様たちに与えてしまわないよう、これからも創意工夫を続け自信や楽しみをもたせられるよう努めて参ります。

		チェック項目	現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた 改善目標・内容
適切な支援の提供	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日担当するお子様は、始業時の会議で決定しております。お子様の出入りや保護者様へのご対応や、対応中にお子様の指導がよろそかにならないよう、それぞれが適宜フォローに入るように徹底しております。【児】【放】		今後も職員会議を欠かすことなく徹底していきながら、それぞれが周りに目を配りつつフォローに入ることを意識する等、役割分担を臨機応変に確認していきながら、お子様の支援がよろそかにならないよう留意して参ります。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	指導終了後や終業時の職員会議に、担当したお子様の様子で職員が気付いた点や気になった点をその日のうちに共有しております。その後、共有でた意見を記録用紙や報告書にまとめ迅速に改善・解決に努めております。【児】【放】		終業時の職員同士で情報の共有し、必要に応じて保護者様に確認とり把握をしていきながら、職員間の支援のすれの防止や改善・向上を続けて参ります。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	お子様の利用時に指導報告書の作成と、適宜の経過記録用紙の個人ごとの保存を徹底しております。支援方法・問題を把握するために、職員同士の情報共有としても指導報告書等を利用してあります。【児】【放】		幸い、開所後から当施設では虐待などの大きな問題は発生しておりませんが、今後も報告書等に正確な記録を残すことを徹底し、問題発生時の検証・改善のために活用致します。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	お子様に合わせて約半年ごとに、保護者・相談支援員の皆様とご相談させていただきながら、モニタリング報告書を作成し、お子様やご家族様のニーズを明確にしていきながら個別支援計画書の見直しを行っています。【児】【放】		今後はご希望する方向けに定期的な面談なども検討するとともに、貴重なモニタリングのお時間を大切にし、お子様たちやご家族のニーズにさらに寄り添った個別支援計画書を作成できるよう努めて参ります。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議が実施される時に、今年度はオンライン等で、できる限り参画致しております。また、個別のモニタリング時にお時間を頂戴しお話をさせていただいたり、書面でご報告をいただいております。【児】【放】		今後もサービス担当者会議へできる限り参画していきながら、障害児相談支援事業所との関係を深め、さらに情報共有を滞りなく活発に行えるよう努めて参ります。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療的ケアが必要なご利用者様や、重症心身障害のご利用者様はいらっしゃいません。【児】【放】		今後、医療的ケアが必要なご利用者様や、重症心身障害のご利用者様をお受けする場合、ご利用までに各関係機関と連携し、ご家族様と面談を重ねていきながら、適切な支援を行えるよう配慮して参ります。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	ご家族様や各機関と適宜、お電話等で情報共有を行っております。ただ、定期的な会議等は設けることができていない状況です。【児】【放】		各機関との関係を築き、ご家族様にとってよりよい統一した支援を継続して行けるように、十分な情報共有を行える連絡体制の構築に努めて参ります。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現在、主に幼児、小学生～中学生を中心に支援しておりますので、障害福祉サービス事業所との情報共有するための連絡体制は、整っておりません。【児】【放】		進路支援を考慮し、ご利用者様一人一人に合った情報提供ができるように、地域の障害福祉サービス事業所等とも連携がとれるよう、努力して参ります。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	希望する職員が個々で研修を受講することはございます。今年度よりオンライン等で会社全体として研修を受講する機会を設けております。【児】【放】		ご利用者様の支援に活かしていけるよう、サービスの向上や職員のスキルアップに努め、今後も継続して会社全体で定期的に研修を受講できるように検討して参ります。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	他事業所や地域住民の方々との交流する活動は行っておりません。また、現在ご利用者様よりご希望などもお伺いしてありません【児】【放】	こういった機会は求めていないので、なくてもいいです。【児】	ご利用者様の心の成長と学習のサポートを中心とした1対1の支援を主軸としており、他事業所や地域の方との交流などの、SSTに特化した支援を行うことができていない状況です。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		はい……2 どちらともいえない……2 いいえ……5 わからない……9	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	施設としての主軸とする支援方針、またお子様に合わせた大まかな支援内容や、利用者負担等はご契約時に責任者よりご説明しております。【児】【放】	わかりやすい説明です。【児】 はい……20 どちらともいえない……1 いいえ……0 わからない……0	ご意見ありがとうございます。今後もご契約者様の立場に立ち、わかりやすいご説明を実施するとともに、適宜支援内容等をお伝えして参ります。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	ご家族様の安全を優先に考え、社会や市内の状況を配慮いたしまして、個別支援計画書について、書面のみのご説明にとどまっております。【児】【放】	はい……17 どちらともいえない……3 いいえ……1 わからない……0	個別支援計画書の作成にあたって、お子様やご家族様のニーズ、また日々のお子様の様子や保護者様からお聞きする困りごとの解決を中心に職員全員で目標や支援内容を検討しております。今後もよりご家庭に寄り添えるよう、きちんとお時間をいただいでご説明できるよう改善して参ります。

【放】……放課後等デイサービス 【児】……児童発達支援

	チェック項目	現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた 改善目標・内容		
保護者への説明書・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	日頃のご相談などはお受けいたしますが、現在、ペアレント・トレーニング等の保護者様向けの支援につきましては、具体的に行っていません。【児】【放】	はい……………3 どちらともいえない……………4 いいえ……………4 わからない……………7	当施設では学習や心の成長を主軸として、お子様のご支援させていただいておりますが、ご家庭でのお困りごと等、少しでもお力になれるよう、事業所全体として保護者さま向けの支援も検討しております。	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	利用前後には、お電話や送迎時、連絡帳などから保護者様から最近のお子様の状況や困りごとをお聞かせしております。その後、職員からは利用時のご様子を連絡帳や口頭でお伝えしております。【児】【放】	お迎えの時に、お話を聞いてくださったり、いろいろと教えていただいています。【児】 毎回、やった内容や様子をとても丁寧に伝えていただいています。【放】 はい……………20 どちらともいえない……………1 いいえ……………0 わからない……………0	ご意見ありがとうございます。今後も利用前後の貴重なお時間、面談等でお気軽に話していただけるよう、相談しやすい雰囲気や信頼関係の構築に努めて参ります。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	今年度は、ご家族様の安全に配慮し、定期的にお時間をいただき、「面談」という形でご相談を受ける時間を中々設けられていません。ただ、利用前後の保護者様との時間や連絡ノートをご相談を受ける時間として、様々なお話をさせていただきます。【児】【放】	先生からの助言は、なるほどと感心しています。【児】 保護者が動かなければ行われぬ。【放】 相談するとアドバイスをさせていただきます。いつもありがたいと思っています。【放】 はい……………11 どちらともいえない……………6 いいえ……………3 わからない……………1	貴重なご意見ありがとうございます。日頃より、連絡ノートやお電話などで、いつもご丁寧にお子様の様子をお伝えいただき誠に感謝しております。 今後は情勢も緩和されましたら、ご希望者様向けの定期的な面談も検討しております。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在、施設での保護者会の開催はしておりません。【児】【放】	求めているのでいいです。【児】 はい……………1 どちらともいえない……………0 いいえ……………11 わからない……………9	保護者会についても、事業所全体にご要望が多くございましたら、今後の開催を検討して参ります。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	施設全体で、苦情に対応する窓口などを設置しております。また、日頃から保護者様より直接ご意見を頂戴しております。【児】【放】	今は、苦情もないのでわかりません。【児】 今のところ苦情はないので…【放】 はい……………13 どちらともいえない……………0 いいえ……………0 わからない……………8	今後も、適切な支援を行っていき苦情がないよう徹底して参りますが、もしもの際は、契約時にお渡ししております重要事項説明書に窓口を掲載しておりますので、そちらまでお問い合わせください。	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用日には連絡ノートに、お子様の利用時の様子を記入し、必要に応じて詳細にお伝えできるよう、直接ご連絡をするなど、双方に誤解が生じないよう努めております。【児】【放】	連絡ノートや、口頭でも伝えていただいているので安心です。【児】 とても適切に配慮していただいています。【放】 はい……………18 どちらともいえない……………0 いいえ……………0 わからない……………3	利用前後にお話しすることができないご家庭には、お電話でご連絡や連絡ノートでお知らせする等の配慮を行い、よりわかりやすく活動の様子を記入することで、どのご家庭に対しても情報伝達が滞らないよう徹底して参ります。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報等の発行は行っておりませんが、ホームページ上で情報や活動の一部様子を発信しております。【児】【放】	求めています。【児】 ホームページは見えていないのでわかりませんが、毎回の指導ファイルで伝えているので満足しております。【放】 はい……………3 どちらともいえない……………1 いいえ……………3 わからない……………14	現在、当施設からご家庭に情報を発信する場所がSNSやホームページのみとなっております。今後は、施設全体から定期的なお便りの配布やホームページ・SNSを広く、施設全体がより親しみやすくなるよう改善して参ります。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報を施設外に持ち出さない事を徹底し、個人の特定に関わる unnecessary 書類は必ずシュレッダーに通すなどの、管理や対策を実行しております。【児】【放】	取り扱いを見ているわけではありませんが、対応などを見て大丈夫だと信頼しております。【放】 はい……………20 どちらともいえない……………0 いいえ……………0 わからない……………1	ご意見ありがとうございます。今後もより安心感をもって信頼していただけるよう努めていながら、個人情報が外部に漏れないよう、最大限配慮するとともに、現在行っている対策を徹底して実行して参ります。	
	非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	ご利用者様には、契約時に重要事項の説明として、緊急時等の対応をお伝えを徹底しております。また、地震などの災害時の避難所を個別支援計画書に記載し、ご家族様の周知に努めております。【児】【放】	感染症対応は、しっかりされていると思います。【児】 はい……………15 どちらともいえない……………1 いいえ……………0 わからない……………4	個別支援計画書に記載や、口頭での説明のみに留まっております。また、緊急を要する場合は書面やご連絡を差し上げております。地震や台風などの災害時やどのような対応をするか、今一度みなさまに周知できるように、現在施設ホームページに、各種対応マニュアルを掲載準備を行っております。
		2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	職員のみでの避難訓練の実施や点検、非常災害時の連絡体制について共有をするのみに留まっております。【児】【放】	避難訓練への参加を子どもに聞くと、「いいえ」だそうです。【放】 はい……………5 どちらともいえない……………0 いいえ……………2 わからない……………14	ご意見ありがとうございます。ご家族さまとご相談していきながら、ご利用時間内でのお子様たちを含めた避難訓練の検討・実施や、当施設の非常災害時対応について保護者様へ周知徹底をするなど、改善して参ります。
3		虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	入社時、また毎年施設ごとに、虐待防止についての内部研修を実施しております。今年度は、外部研修に参加できていない状況です。【児】【放】		職員の虐待に対する正しい知識や、お子様たちへの支援の質をより向上させるため、引き続き外部研修への参加を検討していくとともに、施設全体の定期的な社内研修など行って参ります。	
4		やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	当施設では、お子様の心の安定や安全面に配慮し支援を行っています。万が一の過度な他害行為や自傷行為などで命の危険に関わる場合は、身体拘束を行う場合がございます。身体拘束を行った場合は記録を基に十分な説明を行う方針です。【児】【放】		お子様の成長過程によっては必ずしも自傷行為をしないとは限らないので、保護者様と連携をとりながら、ご利用中のお子様の状態を把握し、注視するとともに、身体拘束を行う場合は保護者様への説明を必ず行う等、徹底して参ります。	
5		食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在、当施設では、熱中症対策として水筒を忘れてしまったお子様たちに、水分補給のためのお茶・白湯のみ提供しております。基本的にこちらから提供し食事を行うことはございません。【児】【放】		行事等で食物等提供する場合には、事前に保護者様にアレルギーの有無を確認したうえで、口頭や連絡帳でのお知らせを徹底しております。	
6		ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎月の施設会議での共有や、施設ごとのヒヤリハット事例集を作成し、事故を未然に防ぐことができるように努めております。また日々職員同士で注意喚起を行っております。【児】【放】		当施設にヒヤリハット事例集に記載されている事例のみならず、施設間での事例の共有を徹底し、ご利用者様の安全管理を今後も継続して参ります。	